

期 日：6月6日（日）

コース：黒尾谷岳登山口5：52～6：00→黒尾谷岳8：24→黒尾谷岳登山口10：29分

参加者：M・T 単独

報 告：



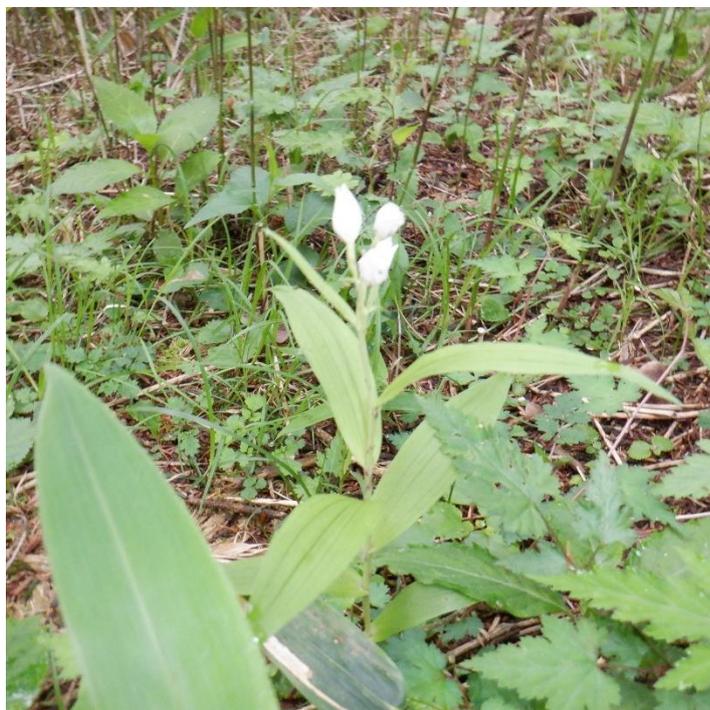
登山口は1000mを越える別荘地に有る。

いつ来ても静かで誰にも会わない山。

一度だけ山伏姿の方お一人に出会った山。

5月初旬に訪れることが多く、こんなにシロヤシオが咲き誇っている山とは知らなかった。

歩き出してすぐにギンランを見つける。最後迄この一本しか見つけられなかった。銀欄・金欄はともに絶滅危惧種。菌根菌が必要。特定の樹木に寄生して生きる。そっと見守ってほしい。



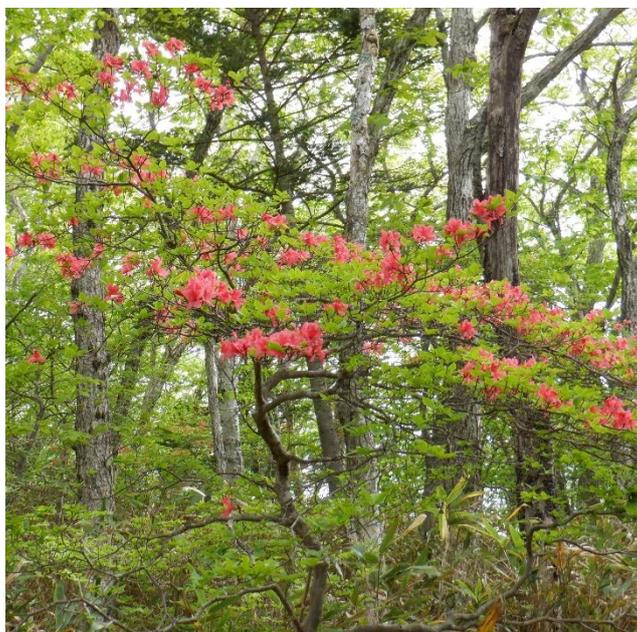
今年初めてハルゼミの煩いほどの鳴き声を耳にしなが、白樺林を歩く。



1151m 地点の三角点

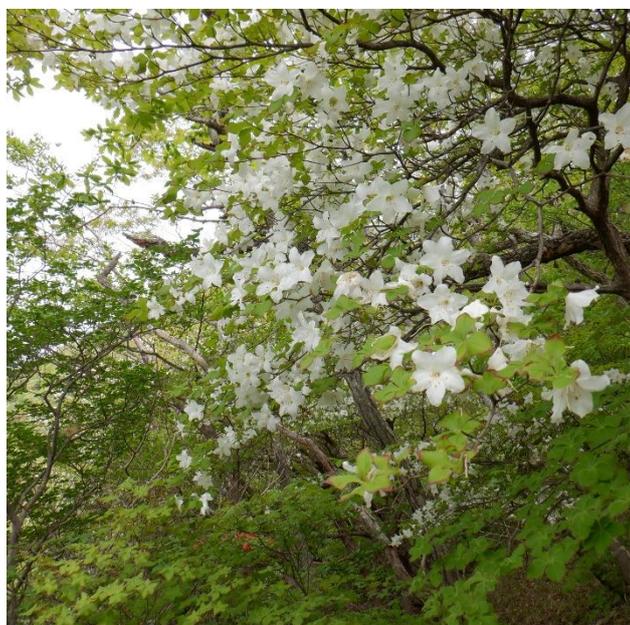
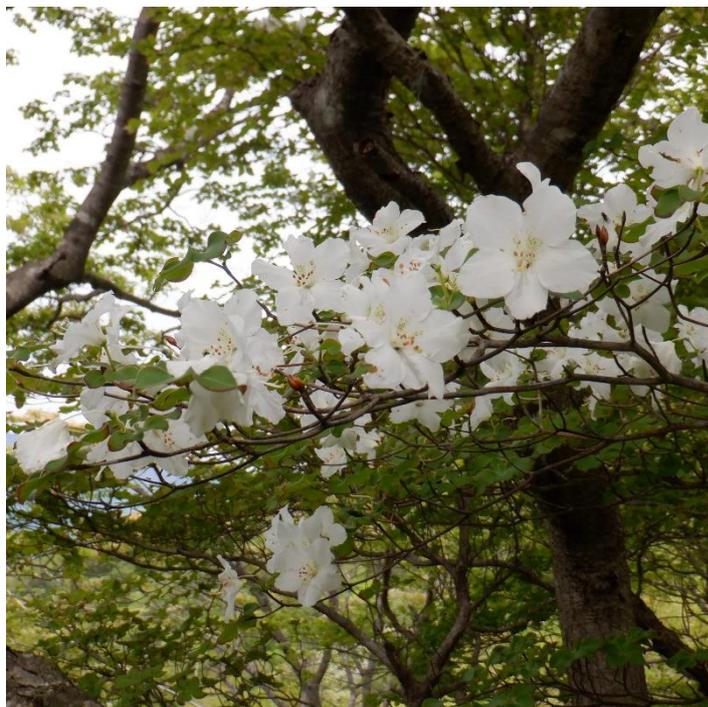


緊急時現在地連絡番号は三本槍にもいくつかあった。昨日登った三本槍岳は40番台で、こちらは105番。もしかして、那須5峰通し番号？（茶臼岳・朝日岳・三本槍・南月山・黒尾谷岳）



この辺りは山ツツジが目につく。
いつの間にかハルゼミの騒ぎは収まっていた。

シロヤシオ現れだす。





白花イワカガミ



散ったシロヤシオ。まるで、そこで咲いているよう。

シロヤシオ（五葉ツツジ）の葉



コヨウラクツツジ



シロヤシオに圧倒されているが、他の草木も見られる。シャクナゲはほとんど終わっていた。



何度写真を撮っても撮り飽きないシロヤシオの道を登って黒尾谷岳到着。山頂らしくない山頂は小さな平地。視界はきかない。

山頂標識は緊急連絡番号103があった。峰の茶屋手前で2番が有るそうなので、黒尾谷山登山口付近105が最終番号かもしれない。

今回も誰にも会わず花咲く登山道を独り占めして、ピストンで下山した。

山頂からわずかに戻った大岩から南月山への尾根が見える。時間が有れば南月山から白笹山・沼原又は茶臼岳方面へ歩くことも出来る。

赤矢印が南月山への尾根。



可愛い花でした。名前が解らず。

静かにシロヤシオを楽しめる手ごろな山でした。